



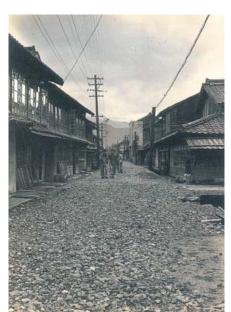
明治~昭和20年代 [1868~1954年]



戦時中、若杉太祖宮前



ボタ捨ての作業



旧道の姿 (町道 上町水車橋線)



炭鉱を走る保険バス

明治22年	4月	村制施行(篠栗・金出・高出・萩尾の4ヵ村か合併して篠 栗村となる。尾仲・若杉・乙犬・和田・津波黒・田中の6ヵ村 が勢門村となる)
明治37年	6月	国鉄篠栗線開通(吉塚~篠栗)
明治45年		明治鉱業株式会社高田炭坑創業(以来昭和になって田丸鉱業、大栄鉱業、福正鉱業、大勢門鉱業、大富産業の各会社が創業するが、昭和38年までに全山廃止)
昭和2年	1月	篠栗村、町制を施行して篠栗町と改称
昭和10年	12月	旧博多駅から篠栗までバス開通、九州バス株式会社と 篠栗バス合併運行
昭和18年	4月	西鉄バスと合併運行
昭和25年	5月	若杉山など県立太宰府自然公園に制定
昭和28年		集中豪雨による大災害発生

昭和30年代 [1955~1964年]



合併調印式 S30.2.6



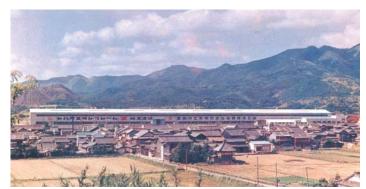
昭和30年頃の勢門小学校



遍照院「木造庚申尊天立像」 福岡県有形民俗文化財に指定 S37.7



合併記念パレード S30.4



豊鋼材株式会社を誘致 S38.4

昭和30年	4月	篠栗町と勢門村が合併し篠栗町が発足		7月	篠栗町役場勢門支所廃止
昭和31年	4月	篠栗•勢門両中学校合併		10月	第9回国勢調査(人口14,039人)
	10月	第8回国勢調査(人口14,800人)	昭和36年	3月	仏舎利殿完成
	11月	筑穂町の一部(内住)編入		4月	明治保育園開設
昭和32年	8月	金剛頂院「木造不動明王立像」、太祖神社「石造狛犬」福 岡県有形文化財に指定	昭和37年	7月	遍照院「木造庚申尊天立像、両脇侍共」 福岡県有形民俗文化財
昭和33年	5月	篠栗上水道給水開始	昭和38年	4月	産炭地振興事業で豊鋼材株式会社を誘致
昭和35年	4月	篠栗中学校体育館竣工	昭和39年	8月	篠栗字長尾に焼却場建設
		「太祖神楽」福岡県無形民俗文化財に指定			

昭和40年代 [1965~1974年]















集中豪雨による災害発生 S48.7

町民体育館竣工	S48.5

昭和40年	4月	合併10周年記念典挙行		3月	篠栗幼稚園竣工
		行政区の一部に変更により「池の端区」を設置		4月	水道統合事業により簡易水道閉鎖し、篠栗上水道給水
	10月	第10回国勢調査(人口14,018人)			開始
昭和42年	6月	「町政だより」発刊	昭和47年	3月	勢門幼稚園竣工
昭和43年	5月	篠栗線延長(篠栗~桂川)		4月	「町政だより」を「広報ささぐり」に改題
昭和44年	3月	中央公民館竣工	昭和48年	5月	篠栗町民体育館竣工
昭和45年	7月	町民プール完成		7月	集中豪雨による大災害発生
	10月	第11回国勢調査(14,855人)			激災害の指定を受ける(死者6人)
昭和46年	3月	大久保(金出区)町営住宅建設4ヵ年計画、初年度分18	昭和49年	5月	篠栗町老人福祉センター開設
		戸竣工		8月	全国高等学校総合体育大会(フェンシング大会)開催

昭和50年代【1975~1984年】





町章 S50.11

S.50頃の町の風景、中心は篠栗小学校



福岡東鉄工団地完成 S51.12



北勢門小学校開校 S53.4



篠栗中学校 S54.3



篠栗町庁舎竣工 S54.4



篠栗小学校 S55.3



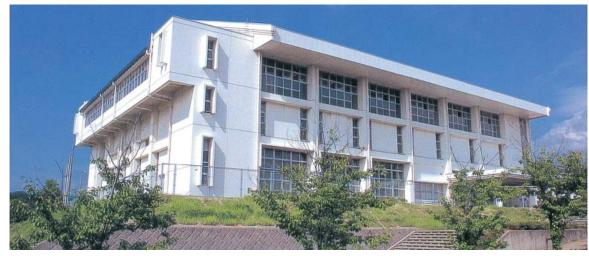
勢門小学校 S58.10

昭和50年	10月	第12回国勢調査(人口16,930人)		4月	鳴淵ダム建設決定
	11月	篠栗町合併20周年記念式典挙行			篠栗町庁舎竣工
		20周年にちなむ新町章決まる		9月	滋賀県神崎郡能登川町と姉妹都市締結
昭和51年	12月	和田区部木原に福岡東鉄工団地が完成	昭和55年	2月	篠栗小学校竣工
昭和52年	11月	町花シュンラン、町木スギ、町鳥キジバトを制定		10月	第13回国勢調査(人口19,662人)
	12月	北勢門小学校竣工	昭和56年	1月	勢門小学校校舎新築第一期工事竣工
昭和53年	3月	太祖神社の杉2本(1号杉、2号杉)福岡県天然記念物に		8月	人口2万人を超える
		指定			勢門小学校校舎新築第二期工事竣工
	4月	北勢門小学校開校	昭和57年	4月	北勢門幼稚園開園
	7月	勤労者体育センター(武道館)竣工			特別養護老人ホーム「篠栗荘」開園
	12月	米ノ山に遊歩道と展望台完成		8月	筑豊トンネル貫通
昭和54年	3月	篠栗町町歌、篠栗音頭完成		9月	民俗資料収納展示室開設
		篠栗中学校竣工	昭和59年	3月	篠栗町商工会館竣工
		町民休養センター「対山閣」竣工			県立社会教育総合センター竣工

昭和60年~平成6年 [1985~1994年]



篠栗北中学校開校 S61.4



篠栗町社会体育館竣工 S62.3



とびうめ国体(フェンシング会場) H2.10



クリエイト篠栗落成 H5.4

昭和60年	2月	八木山バイパス開通	昭和62年	3月	篠栗町社会体育館竣工
		八木山バイパスに花観音完成	平成元年	2月	流域下水道工事着手
	10月	第14回国勢調査(22,114人)	平成2年	10月	とびうめ国体
	11月	篠栗町合併30周年記念式典挙行			国道201号福岡東バイパス開通
昭和61年	3月	篠栗四国霊場開山150年大祭			第15回国勢調査(人口23,267人)
	4月	篠栗北中学校開校	平成4年	3月	篠栗小学校萩尾分校建替え竣工
	7月	国道201号福岡東バイパス粕屋和田間(1,100m)供用開始	平成5年	4月	篠栗町総合センター「クリエイト篠栗」竣工
	10月	粕屋中部消防署開設		11月	篠栗町保健センター竣工

平成7年~平成16年 [1995~2004年]



南蔵院釈迦涅槃像開眼供養 H7.9



篠栗町合併40周年記念式典挙行 H7.12



篠栗線·筑豊本線電化開業 H13.10



篠栗町総合保険福祉センター「オアシス篠栗」竣工 H12.4



鳴淵ダム竣工 H14.9





篠栗駅開業100周年記念

平成7年	3月	パラグライダー世界選手権大会開催(米ノ山)		4月	篠栗町立体駐車場「セントラルパーク」竣工
	9月	南蔵院釈迦涅槃像開眼供養		7月	町内6か所に空き缶・ペットボトル回収処理機を設置
	10月	第16回国勢調査(人口26,314人)		10月	篠栗線・筑豊本線電化開業、愛称「福北ゆたか線」
		篠栗町合併40周年記念式典挙行	平成14年	3月	若杉巨木杉郡一帯を「大和の森」と命名、最大の杉を「大
		篠栗歴史民俗資料室開室			和の大杉」と命名
平成8年	4月	篠栗町公共下水道供用開始			篠栗幼稚園移転竣工
		行政区の変更により「ベンタナヒルズ区」を設置		4月	篠栗中学校給食開始
	10月	鳴淵ダム定礎式		8月	人口3万人を超える
平成9年	3月	資源選別処理施設完成		9月	鳴淵ダム竣工
	8月	JR篠栗線・筑豊本線電化工事始まる		11月	森林マラソン誘致
平成11年	3月	若杉観音堂「木造千手観音立像・木造阿弥陀如来立像」	平成15年	1月	大分県上津江村の森林購入
		福岡県有形文化財に指定		3月	一般廃棄物処理施設「クリーンパークわかすぎ」竣工
平成12年	4月	篠栗町総合保険福祉センター「オアシス篠栗」竣工		6月	たけのこ児童館移転新築
		篠栗敬光園民間移譲		7月	すぎのこ児童館移転新築
	10月	第17回国勢調査(人口29,389人)	平成16年	3月	篠栗町葬祭場竣工
平成13年	1月	明治保育園移転新築「栗の子保育園」に改称			勢門幼稚園移転竣工
	4月	篠栗北中学校給食開始		10月	篠栗駅開業100周年記念
		篠栗町総合運動公園「カブトの森公園」竣工			

平成17年~現在 [2005年~]



篠栗町合併50周年記念体育館竣工 H17.3



篠栗町合併50周年記念式典挙行 H17.12



弘法大師ご留錫1200年法要 H18.6





The state of the s

小学校運動場芝生化



森林セラピー基地篠栗オープン H22.9



協働のまちづくり推進協議会発足 H24.4



篠栗大水害 H21.7 (7月24日~8月5日)



篠栗九大の森オープン H22.7



商工会のキャラクター「くりみん」が誕生 H24.4



8月8日を篠栗町の「観光の日」とする H24.8



お笑いコンビ「パンクブーブー」の黒瀬純さんと「バッドボーイズ」の佐田正樹さんに「篠栗町ふるさと観光大使」を委嘱 H25.11

H27.5



般社団法人篠栗町観光協会設立総会

観光協会設立総会 H25.12



平成17年	2月	石井坊木造不動明王及二童子象が福岡県有形文化財	平成22年	6月	篠栗小学校運動場の芝生化
		(彫刻)に指定		7月	「篠栗九大の森」がオープン
	3月	篠栗町合併50周年記念体育館竣工		9月	「森林セラピー基地篠栗」がオープン
	5月	「新町公園」が完成		10月	第19回国勢調査(人口31,327人)
	10月	第18回国勢調査(人口30,989人)	平成23年	6月	勢門小学校運動場の芝生化
	11月	篠栗町合併50周年記念式典挙行	平成24年	4月	商工会のキャラクター「くりみん」が誕生
平成18年	1月	滋賀県神埼郡能登川町と姉妹都市締結解消		8月	8月8日を篠栗町の「観光の日」とする
	2月	「萩尾神社の社叢林」、「金出宝満宮の社叢林」、「金出天		11月	町道下町若杉線開通
		神森の大樟(1号木、2号木)」を町天然記念物に、「若杉		12月	一般社団法人篠栗町観光協会設立
		向ノ山経塚出土品」を町有形文化財(考古資料)に指定			お笑いコンビ「パンクブーブー」の黒瀬純さんと「バッドボー
	4月	やまばと児童館移転新築			イズ」の佐田正樹さんに「篠栗町ふるさと観光大使」を委嘱
		弘法大師ご留錫1200年法要	平成26年	3月	九州大学農学部附属演習林福岡演習林内の珪化木群が、
	12月	筑前山手駅壁画除幕式			「篠栗の埋没化石林」として福岡県指定天然記念物に指定
平成20年	5月	霊峰若杉山の伏流水で仕込んだ本格米焼酎「篠栗伝		4月	若杉「石井坊」を町指定史跡名勝天然記念物に指定
		説」が完成		9月	議会にタブレット端末を導入
	9月	「篠栗九大の森」整備構想が始動	平成27年	5月	第66回福岡県植樹祭にて、「第1回福岡県木造・木質化
平成21年	7月	集中豪雨による大災害発生			建築賞」木質化の部で優秀賞を受賞
	8月	北勢門小学校で「アビ芝プロジェクト」を実施			

篠栗町町歌

作詞/山本 秀夫 作曲/安永武一郎

、輝く朝日に雲そめて 篠栗町を担おうよ 希望に睦みの輪をひろげ 山の由緒に我等みな 緑に映ゆる若杉の 篠栗町を担おうよ

二、清い流れの多々良川 篠栗町を興そうよ 泉のように励みあい この世の幸に我等みな 恵みは深くたゆみなく 篠栗町を興そうよ

三、いかに雨風の荒るるとも 篠栗町を伸ばそうよ 文化の花の発展に 教えを抱いて我等みな 語り継がれし幾歳の 篠栗町を伸ばそうよ

ささぐり音頭

作曲/山中 博

、春のナー 春の篠栗 お遍路さんは

笠と桜と鈴の音(サテネ) 札所七坂 笑顔で越えて

願いかけます

奥の院(ソレ)

くるりくるくるテモサッテモ ほんに楽しやささぐり音頭

ひと踊り

二、夏のナー 夏の篠栗 五塔の滝は

こころを清める人ばかり

(サテネ)

荒田高原 はじける若さ

キャンプファイヤの 灯がゆれる(ソレ)

*

三、秋のナー

秋の篠栗 金出川を 染めて流れる恋もみじ

あの娘恥かし 南蔵院の

(サテネ)

陰で待ってる

十三夜(ソレ)

*

四、冬のナー

冬の篠栗 若杉山は

今日もほんのり雪化粧 (サテネ)

やがて嬉しい 梅と椿に 花咲く便り

明日がくる(ソレ)

※はくりかえし

篠栗町歴代町長 ///



井上 新左衛門 (昭和30年4月30日~) 昭和42年4月29日)



滕 岩雄 (昭和42年4月30日~) 昭和54年4月29日)



松田 重三 (昭和54年4月30日~ 昭和55年10月14日)



長澤 茂樹 / 昭和55年11月30日~ / 昭和59年11月29日



(昭和59年11月30日~) 平成8年11月29日



横山 久義 (平成8年11月30日~) 平成16年11月29日)

ごあいさつ

篠栗町は、昭和30年4月に旧篠栗町と勢門村が合併して、今年で60年を迎えました。

合併当時、町の基幹産業は、石炭産業と篠栗四国霊場に代表される観光産業でした。人口は14千人程度でしたが、昭和45年頃から福岡都市圏のベッドタウンとして発展し、平成14年8月には人口3万人を超えました。一方で、60年前の基幹産業であった石炭産業は、昭和38年に全山が廃止し、観光産業は、昭和40年頃をピークに旅館業を営む方々が年々減少しています。

このような状況の中、国が進めている「地方創生」実現のための「篠栗町 まち・ひと・しごと創生総合戦略」を本年度策定しました。総合戦略には、4つの基本目標「安定した雇用を創出する」「まちに人を呼び込む」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「時代に合った

地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する」を掲げています。

これから先、将来を担っていく子どもたちのために、「私たちの町のまちづくりは、私たちの手で」という思いをもって、郷土を愛する町民の皆さまとともに一層の努力を重ねてまいります。

篠栗町長 三浦 正

篠栗町民憲章

美しい自然と古い伝統のなかで暮らしているわたくしたちは郷土に誇りをもち、さらに豊かな篠栗町を 創りあげるため、ここに町民憲章を定めその実践に つとめます。

- 一、わたくしたち篠栗町民は、恵まれた自然と、美し い生活環境を守り育ててゆきます。
- 二、わたくしたち篠栗町民は、祖先の文化遺産をたいせつに継承してゆきます。
- 三、わたくしたち篠栗町民は、学ぶ心をたいせつに 育てながら、豊かな文化を創ってゆきます。
- 四、わたくしたち篠栗町民は、働くことに喜びと誇りをもち豊かで住みよい町を創ってゆきます。
- 五、わたくしたち篠栗町民は、お互いに思いやる暖か い心をもち、明るく楽しい町を創ってゆきます。



町 章

篠栗町の「さ」を図案化して、明るく住みよい調和 のある町をシンボライズしたもので、中心から四方に 広がりゆく発展の意味を含んでいます。三つの三角 頂点は若杉山を中心として、鉾立山、米の山を表して います。



町花:シュンラン



町木:スギ



町鳥:キジバト

